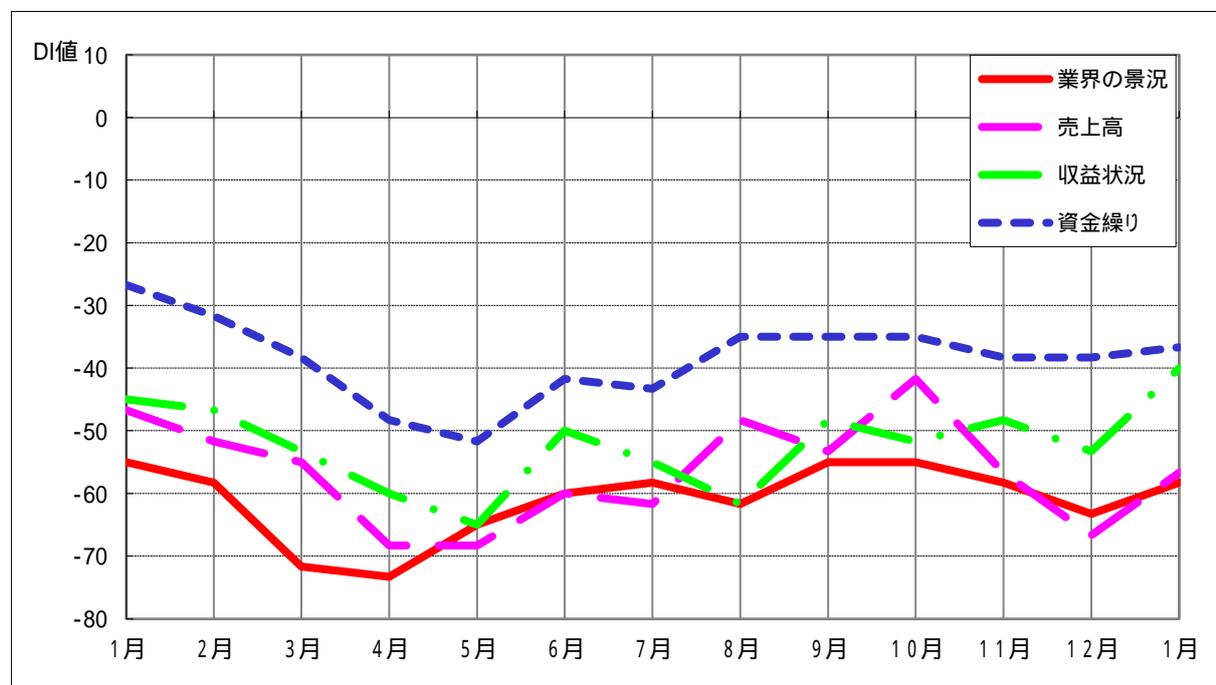


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和2年1月～令和3年1月

単位:ポイント



	R2												R3
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
業界の景況	-55.0	-58.3	-71.7	-73.3	-65.0	-60.0	-58.3	-61.7	-55.0	-55.0	-58.3	-63.3	-58.3
売上高	-46.7	-51.7	-55.0	-68.3	-68.3	-60.0	-61.7	-48.3	-53.3	-41.7	-56.7	-66.7	-56.7
収益状況	-45.0	-46.7	-53.3	-60.0	-65.0	-50.0	-55.0	-61.7	-48.3	-51.7	-48.3	-53.3	-40.0
資金繰り	-26.7	-31.7	-38.3	-48.3	-51.7	-41.7	-43.3	-35.0	-35.0	-35.0	-38.3	-38.3	-36.7

1月のDI値は前月と比べ、4項目全て改善となった。「収益状況」DI値は13.3ポイント、「売上高」DI値は10.0ポイント、「業界の景況」DI値は5.0ポイント、「資金繰り」DI値は1.6ポイントそれぞれ改善した。前年同月比でみると、1項目改善、3項目悪化した。「収益状況」DI値は5.0ポイント改善、「売上高」DI値は10.0ポイント、「資金繰り」DI値は10.0ポイント、「業界の景況」DI値は3.3ポイント悪化という結果となった。

連絡員からは、引き続き新型コロナウイルスとGoTo関連事業停止についての報告に加え、大雪による影響が多く寄せられている。全体として底打ち感がみられるが、横ばい状態であり、雇用調整助成金等を活用しつつも低迷の状態が続いている事業者が多い。

組合員からの特記事項として、数年ぶりの大雪で物流の切断、工事の中止、外出を控えるなどマイナスの影響が多く、特に上越地域では雪の影響が大きかったことが伺える。一方で、ホームセンター向けの冬季用品や一部の運輸業で需要増がみられた。製造業では、主要都市の緊急事態宣言の影響もあり業務用や土産物は依然として低調な動きが続いている。自動車部品関連は持ち直し基調ではあるが、自動車メーカーは慎重姿勢であり、プラスチック関連では、コロナウイルスワクチン輸送容器関連に着手した企業もあるようだ。非製造業においては新型コロナウイルスの影響で外出を自粛することに加え、大雪で人出が更になかったことから売上を落としている事業者が多い。